

《元気な金目 未来につなぐ》

# 金目エコだより

発行日 令和4年8月1日  
 発行者 金目エコミュージアム広報委員会  
 連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101  
<http://hiratsuka.johokyoyu.net/area/kaname>



## 総会を終え 新たな一歩へ

金目エコミュージアム会長 米村康信

令和4年度金目エコミュージアムの総会が5月13日、金目公民館集会室で開催されました。昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染症防止のため、書面議決で実施されました。今年は十分な感染症対策のもと、平塚市教育委員会社会教育課の田中課長をはじめ、3名の関係担当者をお迎えして行われました。

今年の総会の中から特徴だったことを3点ご報告いたします。

先ず第1点目は、コロナ禍で活動の規制や制限がある中で、金目エコが実施した事業活動が37事業と平年の活動と遜色なく行われたこと、また他団体と比べても事業活動の多さは特筆すべき点です。この事はそれだけ地域住民から多くの信を受けて活動できている証と言えましょう。

第2点目は、事業計画の中から大きな前進が期待されることです。今年は金目が平塚市に併合して65周年、さらに金目エコが発足して15周年に当たります。それにちなんで事業活動の継続と新たな事業活動の推進（例えば、可奈比塾叢書（かなひじゅくそうしょ）第4号「秋山博と私立中郡盲人学校」の刊行、「金目落語鑑賞会」の実施、金目の鳥「翡翠（かわせみ）」の決定と周知をはかることで一段と金目エコの認知度が高まるとともに、より一層の発展が期待されます。

第3点目は、今年は向こう3年間の中期事業計画の策定と2年毎の役員改選の年でもありました。中期事業計画では組織活性化のため、会員の増強を図るとともに女性や若い会員の活躍できる環境づくりを目指すことになりました。その一環として①女性チーム事業の検討委員会の設立、②情報発信（HPやエコだより等）の強化等があげられ、より多くの女性会員の参加と市外、県外へと広く金目エコが知れ渡ることで、会員の意識や活動意欲も高まることが期待されます。

また令和4、5年度の役員になられた会員は下表のとおりです。

このように今年は設立15周年と中期計事業計画初年度に当たり、会員一同、心を新たに色々な事業活動を通じて金目のまちづくりに邁進してまいります。皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

### 令和4、5年度役員

会長	米村 康信
副会長	柳川 久子
会計	福田 五郎
グループリーダー	金目ガイドG 小宮 和高
	自然学級G 遠藤 知克
	農・食文化G 黒部 光司
	祭・民俗文化G 三木 和俊
事務局長	野口 四郎
広報委員長	片倉 徳広



令和4年度総会の様子



議案決議の様子（手前は会員 奥は役員）

## 親子ホタル観察会！

平塚市で、自然の中でホタルの飛翔を観察できる唯一の公園が「金目親水公園」です。

令和4年5月14日(土)金目公民館と金目エコミュージアムが共催した「親子ホタル観察会」が、みずほ小学校体育館で18時15分から開かれました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大による「緊急事態宣言」下で親子参加者を40名に限り開催せざるを得ませんでした。しかし、今年は広い体育館で安心・安全を確保できることから希望者全員が参加できました。また南原公民館で募集した親子も加わり、スタッフを合わせて112名になりました。

ホタルがあまり見られなくなった理由や自然環境のことを学んでから、公園へ移動しました。平成12年(2000年)から始めたゲンジボタル幼虫の放流はしばらく控えていましたが、今年の2月11日に4年ぶりで放流しました。

去年から前もって卵をたくさん採取し養殖しておきました。ゲンジボタルの幼虫をやや大きなもの(体長約3cm)を330匹、中くらいなもの(体長2cmほど)を70匹、計400匹を子どもたちや金目エコ会員が公園水路に放流しました。ゲンジボタルのエサであるカワニナも同時にたくさん放流しました。お陰様で観察会当日は30頭ほどのゲンジボタルの幻想的な舞いが観察できました。



金目親水公園へ行く前にホタルについて説明(みずほ小体育館にて)

さて、皆さんは、ホタルについてどの程度知っていますか？

- 問1 世界には何種類のホタルがいるのでしょうか？・・・①200種 ②2000種 ③20万種  
問2 ホタルの成虫は何を食べているのでしょうか？・・・①他の昆虫 ②葉っぱ ③何も食べない  
問3 成虫になったゲンジボタルはどのくらい生きていますか？①2～3日 ②約1週間 ③約1ヶ月  
問4 ゲンジボタルが光るのはなぜ？

・・・①飛ぶ時暗いから ②光に寄って来た他の虫を食べるため ③点滅で会話するため

問5 ゲンジボタルの成虫でオスとメスどちらが大きいでしょうか？

・・・①オスの方が大きい ②メスの方が大きい ③オス、メス同じ大きさ

【答え】問1-②、2-③、3-②、4-③、5-②

(自然学級G 遠藤 知克)

## 自然観察会に参加して

広川在住 飯村悦子

5月21日(土)朝から怪しい空模様ですが、子どももお気に入りの自然観察会。今までも何回か参加させて頂きましたが、今回も「行く」と即答でした。おはなしの会で絵本を楽しんだ後にクイズラリー。「何番から行こうかな」と楽しく悩み、順番にクイズへ。金目エコの方や中学生が丁寧に説明して下さい、家では見られない真剣な表情で聞く息子。前に参加した時は私が答えを記入していたのに・・・と成長を感じました。家に帰ると「楽しかったー。クイズでやったことを誰かに教えたい」と言っていました。親子共々楽しい時間を過ごせました。途中で雨が降ってしまいましたが、傘をさしての自然観察会も特別な感じがして、いい思い出になりそうです。楽しい一日をありがとうございました。



戸外でお話の会を開催



十円玉をきれいに磨ける草は？



クイズの解答を中学生が採点



## 「金目落語鑑賞会」を開催！

6月11日（土）金目公民館体育館に於いて金目エコ・金目長寿会主催で「金目落語鑑賞会」を開催しました。

昨年暮、真田与一の会から新作落語「真田与一義忠」を題材とした創作落語会開催の打診が有り、開催すると決定しましたが、コロナ禍で実施できず、今般やっと公民館使用が可能となり開催することができました。会場一杯の120名余の参加者で「落語鑑賞会」は楽しく盛り上がりました。

金目エコ米村会長の「エコの活動の原点は魅力ある故郷金目を皆さんと共有したいとの思いである」との熱い挨拶で会は開演しました。

**第1部** 吟道清泉流心泉会員の詩吟で開幕。題目「平塚の里」及び「石橋懐古」を朗々と歌い上げました。



与一甚句を歌う与一の会

続いて地元真田神社に纏わる「真田与一」の若くして討ち死にした一生を謳った題目「与一甚句」で館内はヨイショヨイショの掛け声と、手拍子で盛り上がりました。

**第2部** 立川志遊立川談志の弟子)の創作落語

「源平盛衰記外伝 石橋山の合戦 相模武士の誉 真田与一編」新作落語。

源頼朝の平家討伐旗上げの戦い、真田与一の活躍と生涯の話を凛とした語り口で面白く語られ、会場一杯に笑いがはじけました。地元金目の話題も折り込まれ会場を沸かしました。あっと言う間の40分でした。



立川志遊の創作落語

最後に金目長寿会平井会長の「皆さん いつまでも地元金目で元気に楽しく」の挨拶で終演しました。

会終了後出口で

- 面白かった。地元のこんな歴史を知った。地元を再認識した。
- 金目や真田神社を少し知ることが出来て良かった。
- 落語を初めて、じかに聞けて良かった。
- 出来れば、また開催して欲しい。
- 金目の他の団体の枠を超えて地元の人が気軽に参加出来る行事もよいのでは。等々皆さんの感想や貴重なご意見を聴くことが出来ました。（金目エコ 野口四郎）

## 写真で見る金目エコの活動状況（4～6月）



さつま芋の苗植え  
5月4日（水）



紙鉄砲遊び  
6月4日（土）竹の子まつり 金目公民館にて



竹馬乗り  
6月4日（土）竹の子まつり 金目公民館にて



出前授業 6月16日（木）  
金目小の校外授業にて



金目小学生と田植え  
6月8日（水）



金目親水公園  
5月22日（日）金目ウォーキングにてガイド



塚越古墳公園



金目の歴史講演 7月8日（金）  
川前ふれあいサロンにて

## 3年ぶりの「わかば祭り」

—躍動する出演者とわくわくの会場—

4月30日（土）、3年ぶりの「わかば祭り」が金目公民館で行われました。前日の雨模様と打って変わり五月晴れともいえる青空でした。気分が高揚するようでした。「天気よければすべてよし」といわれますが、本当に主催者として嬉しくなりました。何よりも出演者が躍動しました。「バトントワリング」は4人の子どもがややお茶目にも見えて可愛かったです。「金目レクダンス」<sup>注1</sup>は90歳の方も郷ひろみの「哀愁のカサブランカ」の曲に合わせて軽やかに踊り、「フラダンス」は大人だと思いましたが、小学生6人による演技でした。特に6年生二人は堂々として大人顔負けの踊りでした。「HGC パッション」<sup>注2</sup>は15人が先生の指導により綺麗に踊っていました。衣装も3回に替えてプロ並みの印象を持たせました。何よりも最初の曲が「七夕踊り」で地元の人々を引き付ける要素が十分ありました。今回は公民館祭りで中止になった団体がリベンジするかのように、はつらつとして出演することの喜びを感じ、会場の人々に感謝する機会が得られた思いが伝わってきました。また、今回は金目小学校、みずほ小学校の校歌が流され、かつ金目中学校、金旭中学校の生徒自身が自ら制作した卒業式の中で、流された「群青（ぐんじょう）」が披露されました。「群青」は東日本大震災で被災した福島県南相馬市立小高（おだか）中学校の卒業生が作詞し、同校の音楽教師が作曲したものです。この曲を被爆二世である信長長富が編曲した素晴らしい合唱曲です。（わかば祭り実行委員長 三木和俊）



小学生のフラダンス

（注：金目公民館で活動しているサークル名。注1はダンス、注2は健康体操のグループ・団体）



金目の自然パネル展示



手作りの独楽遊び

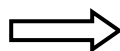


HGC パッションによる踊り

### 【写真で見る金目の今昔】



金目川河原（前河原橋～観音橋）（撮影 昭和29年出初め式 提供（故）斎藤豊氏）



令和4年5月現在の金目川河原（前河原橋～観音橋）

### イベント開催予定

金目灯ろう流し

8月13日（土）18:00～19:00

金目親水公園

金目収穫祭

11月6日（日）

未定

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更又は中止の場合もあります。）